

事業スケジュール



事業の歩み

- 平成 6年 4月 鉄道高架化調査の国庫補助採択
- 平成 7年 1月 配線計画、線路橋、架道橋、橋梁等の比較設計及び環境予測調査に着手
- 平成 7年 1月 阪神・淡路大震災発生
- 平成 7年 8月 新設計基準に基づき鉄道高架構造物の耐震検討に着手
- 平成 8年 4月 鉄道と交差する道路、河川等の設計に着手
- 平成 9年 2月 鉄道高架の概略設計に着手
- 平成12年 3月 鉄道事業者と都市計画決定に関する協議が整う
- 平成12年11月 国の公共事業見直しによる「国庫補助中止」、コスト縮減、計画の見直し作業に着手
- 平成14年 7月 鉄道高架(車両基地、貨物駅を含む)等の都市計画原案の説明会を開催
- 平成14年 8月 鉄道高架(車両基地、貨物駅を含む)等の都市計画原案の公聴会を開催
- 平成15年 1月 鉄道高架(車両基地、貨物駅を含む)等の都市計画決定
- 平成15年 4月 連続立体交差事業採択(新規着工準備箇所)
- 平成15年12月 鉄道高架(車両基地の造成事業)の事業認可取得
- 平成16年 9月 鉄道高架(新貨物駅の造成事業)の事業認可取得
- 平成18年11月 鉄道高架(高架本体・車両基地・新貨物駅の整備事業)の事業認可取得
- 平成20年 3月 鉄道高架(高架本体・車両基地・新貨物駅の整備事業)の変更事業認可取得
- 平成26年 3月 鉄道高架(新貨物駅の整備事業)の変更事業認可取得

沼津駅付近 連続立体交差事業 (鉄道高架事業)

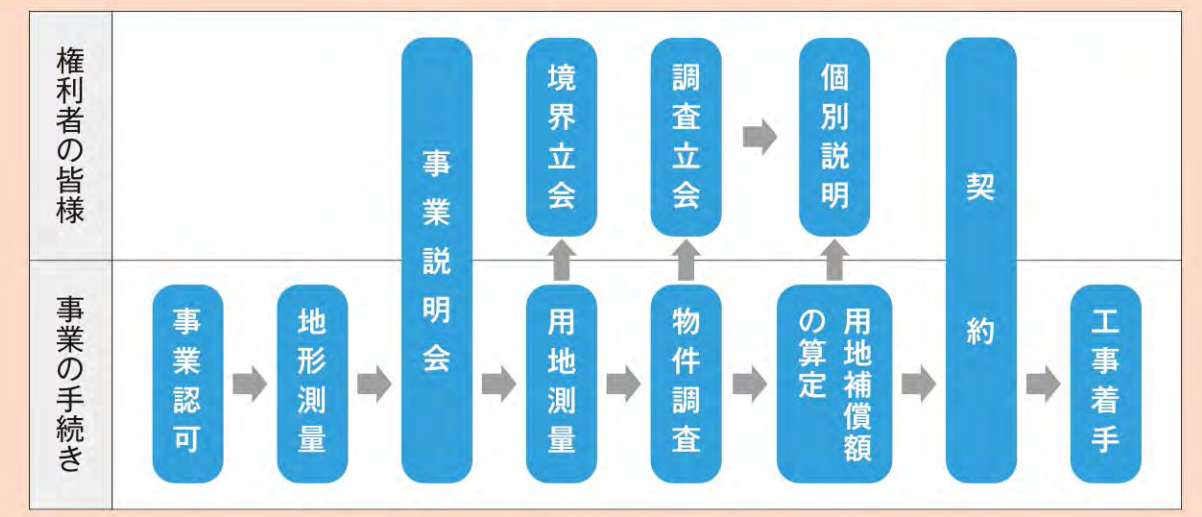
鉄道高架事業を通じて
沼津駅を中心とした都市環境・都市機能が
より魅力的に生まれ変わります。

はじめに

沼津市は、産業・教育・文化・行政など様々な分野において、県東部地域の中心都市として発展してきました。
しかし、都市の拡大とともに、市街地を中心とする交通環境の悪化や、鉄道による地域分断などの諸問題が生じてきました。
沼津駅付近鉄道高架事業は、鉄道を一定区間高架化することにより、都市交通の円滑化や歩行経路の確保、南北市街地の一体化など、多くの効果が期待できる事業です。
また、土地区画整理事業などの関連事業を一体的に実施することにより、災害時の防災性の向上、魅力ある都市拠点の形成、都心居住の推進など、これからの都市に求められる様々な都市機能が形成されます。



事業の進め方



お問い合わせ 静岡県沼津土木事務所 都市計画課
TEL 055-920-2222 〒410-0055 沼津市高島本町1-3
沼津市沼津駅周辺整備事務局 推進課
TEL 055-934-4768 〒410-8601 沼津市御幸町16-1



詳しくはホームページをご覧ください 沼津土木: <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830>
沼津市: <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>



事業計画

- 事業主体・・・静岡県
- 施行箇所・・・静岡県沼津市大岡～桃里
- 鉄道高架化計画
 - ・事業区間
 - JR東海道本線 約4.1km(大岡団地付近～小諏訪付近)
 - JR御殿場線 約1.8km(大岡団地付近～沼津駅)
 - ・高架区間
 - JR東海道本線 約3.7km
 - JR御殿場線 約1.6km
 - ・駅部の形態・・・ホーム3面、着発線6線
 - ・除却する踏切数 13箇所(東海道本線12箇所、御殿場線1箇所)
- ・立体交差化する幹線道路 8路線(国道1路線、県道1路線、市道6路線)
- 移転する鉄道施設
 - ・車両基地(片浜地区に移転) 延長約2.1km、面積約62,000㎡
 - ・新貨物駅(原西部地区に移転) 延長約2.1km、面積約118,000㎡
- 事業費 約787億円 (高架本体及び、車両基地・新貨物駅工事費)
- 事業期間 平成18年度～平成34年度

